

もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

7
Jul

NO 300 / 2022

祝 300号 contents

★7月例会案内

《7月18日 祝・月曜》

「狐原山草刈り&景観整備」他
..... 2

★5月例会報告

5月22日「ゆとりの森」
報告：高杉(5班)
..... 3

★特集「もりの手紙」300号記念

・おめでとう創刊300号
・今月のひと枝：テイカカズラ
..... 4, 5

★令和4年度総会：山田

★6月クラフト部会：佐藤
..... 6

★・第1回「もりメイトキッズ」
：佐々木

・「山の日」：富田
..... 7

★7月・各部の活動予定他
..... 8



もりメイトキッズは16年目を迎えます。初回はフィールド散策と森林整備。P7にて報告

私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆イオン幸せの黄色いシートキャンペーン
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり

〈 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 〉

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



2022年7月地域貢献プロジェクト例会【担当1班】

きつねぼらやま 「狐原山」草刈り&景観整備

散策道と周辺の草刈り、見晴らし整備のため不要木の伐採を行います
また。併せて刈払い機の研修も行う予定です。是非ご参加ください。

◆日 時： 7月18日（祝・月曜）8時30分～

小雨決行、作業は午前中で終了です。

◆会場：【狐原山】佐伯区湯来町白砂^{しらすこ}

※ 湯来体育館〈湯来町大字白砂 1215 番地の 1〉の向かい

◆持参物：山の道具・弁当・飲み物・名札

※ 地元のご厚意により七夕汁が用意されます。汁椀を準備して下さい。
草刈り機(所有の方)、スコップ、鎌等ありましたらご持参を。

◆申込み：7月11日（月）までに各班長へ連絡。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は
下記へ電話かメールにてご連絡下さい。

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com



きつねぼらやま

2005年、湯来町が広島市に合併された記念として、
狐原山に広島市民の手によって桜が植樹されました。

当時、ここに関わり、地域の活性化で活躍されていた
松波氏と倶楽部の会員が知り合いだった事から、植林後
の草刈りの要請を受け、“湯来ふるさとプロジェクト”と
の協働で毎年整備を続けています。ここ数年コロナ禍で
中断していますが、春にはお花見イベントも繰り広げら
れ当倶楽部も木工クラフトで参加しています。

狐原山が桜色に染まり、たくさんの市民が集う憩いの
「桜の森」目指し、今年もたくさんの方の参加をお待ち
しています。気持ちの良い汗をながしましょう。



写真は2020年の例会から

～8月例会は、28日の第4日曜に予定しております。詳細は8月号会報にてご案内いたします。～

立派な階段が仕上がり、素晴らしい眺望も確保できました。

晴天の中、日中はかなりの気温が上がる予想が出ていました。開会式では、「ゆとりの森」オーナーの沖野様の挨拶の後、班の編成及び作業内容等の説明があり、総勢32名の参加で、班をA～D班の整備班と調理班に編成し、A～Cの班が遊歩道の階段作り、D班が展望台の展望を確保する為の除伐作業を行いました。

午前中は9時半から11時50分、午後は13時から14時30分迄の作業でしたが、人員機材とも異常なく、安全に所要の作業を完了する事が出来ました。

また、昼食にはイノシシ肉を使った「焼きそば」と「しし鍋汁」と「むすび」を頂き、私だけでなく皆さんも大満足の様子で、美味しく召し上がっておられました。

終業のミーティングでは、オーナーの沖野さんから「大人数で作業をしてもらい立派な階段と素晴らしい眺望が

確保できた。」等と、感謝とねぎらいの言葉を頂き、初参加の伊達さん、関東さんからは「楽しかった、また参加したい」との感想を頂戴しました。また、チェーンソーを使つての伐採作業時の安全厳守事項について厳しい提言がなされ、新旧を問わず気持ちを新たにすべきとの貴重な意見も頂きました。安全を第一とし危険防止の為には、更なる研修や訓練を積み重ねる事が必要だと感じました。

昨年、被災した後の「ゆとりの森」は池も周辺も土砂で埋まり、橋も流され土砂が堆積したそうですが、前回の災害復旧作業と今回の整備作業で一段と充実したものになった事を喜ばれていたのが印象に残りました。

最後に調理に腕を振るって頂いた調理班の皆さんとオーナーの沖野様、本当に有り難うございました。



一本一本杭を打ち、立派な階段に仕上がりました。



上:挨拶されるオーナーの沖野さん。下:午後作業前のミーティング打ち合わせと振り返りは欠かせない。真剣そのもの。



安全第一！除伐して景観を取り戻す



お昼の豪華なメニューに大満足。



お昼を作り終え、ホッと一息。実はこのブランコも、災害時は土砂にすっぽり埋まっていた。。



今年は、倶楽部創立 25 周年、会報「もりの手紙」創刊 300 号を迎えた記念すべき年。これまでに沢山の方々が関わり支えて今日に至る。「もりの手紙」には、もりメイト倶楽部 Hiroshima の歴史が刻まれ、対外的には、もはや倶楽部の【顔】となりつつある。

会報「もりの手紙」が果たす役割は、情報の共有はもちろん、私たちの活動を外へ向けて積極的に発信すること。そして、それは大きな社会の流れを生み出すきっかけとなるやもしれない。

初代広報担当の北村さんは、創刊 100 号に「もりの手紙」が発行された当時のいきさつを書かれている。また、数人の皆さんに「もりの手紙」への思いやエピソードをお寄せ頂いた。

今一度振り返り、400 号への歩みの一歩としていきたい。

～「もりの手紙」発行のいきさつ～

初代広報担当：北村浩司

『倶楽部が発足した 97 年の 3 月、倶楽部の結成を話し合う会議でのことだったと記憶している。「会報を作ろう」。誰かが提案した。「せっかく発行するなら毎月出そう。毎回の活動内容も詳しく報告しよう」。私もそう主張したように思う。一部の役員だけでなく、みんなが情報を共有することが、このような組織を長続きさせる最大のカギだと思ったからだ。最初約 30 人で始めた倶楽部も、今では大所帯になった。部会もできて、活動も多岐にわたっている。それだけに、情報の共有、ということは、これまで以上に大事になるだろう。もりの手紙の重要性はますます高くなっているのは間違いない。』

・・・2005 年 10 月号「100 号」記念号から・・・



藤原 京華(旧姓 東田京華) ～8 代目広報担当～

もりの手紙 300 号おめでとうございます。私、今は岡山に住んでおり、すっかり活動にご無沙汰しておりますが、松ヶ原でのキッズ開催は続き、いつも関係の方々にお気遣いいただきありがとうございます。最近の会報は一段と素晴らしく、澄さんのご苦労と皆様の力の結集を拝見しています。

思えば、入会后すぐの例会か総会にて、先代編集長の辻邊(つじべ)さんが後継を求めてらして。風邪をひかれていたのもありしんどそうで、「山仕事はそんなにできないけど、私にできることなら」と、うっかり手を挙げてしまったのが始まり(笑)!! 日々残業の中、毎月の締め切りに追われ、深夜や仕事中に必死で制作していたことを思い出します。新入りでも編集することで倶楽部のことがよくわかり、みなさんと仲良くなれて、貴重な経験や学ぶ機会をいただき、楽しい思い出がたくさん出来ました。発送の役員会後の一杯も楽しく、みなさんのパワーに刺激をいただきました。

入会してまだよくわからない～という方に! セっかくの出会いです、もう一歩踏み出し、たくさん関わることをお勧めします!

2005 年から京華さんは編集に携わって来られました。今も活用させて頂いている沢山のイラストはデザイナーの京華さんの手によるものです。(岡山在住 賛助会員)

米田 圭子

5 班(育成講座 19 期)

「森の手紙」300 号発刊おめでとうございます!

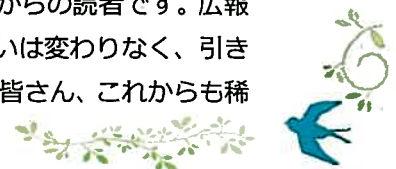
私の手元にある最初の会報は 2014 年 6 月号で、205 号のようです。もりメイトの研修中に渡していただいたものです。

それからおよそ 100 号分の 8 年は私の歩みの記録とも言えます。この 1 年余りはコロナや家族の介護で活動できていませんが、毎月届く「森の手紙」に力をもらっています。これからも皆様の活動報告を楽しみに応援させていただきます。



西澤 永恵 3 班(育成講座 2 期)

97 年(平成 9 年)6 月に、「もりメイト養成講座」に入ってから、倶楽部の皆様にお会いしたのが最初の出会いでした。丁度その頃に「もりの手紙」が創刊されましたので、その頃からの読者です。広報担当さんは変わっていかれていますが(今は 10 代目)、つくる思い、届ける思いは変わりなく、引き継がれています。こんなに長く毎月発行し続けている団体は稀ときいています。皆さん、これからも稀を形づくっていきましょう!

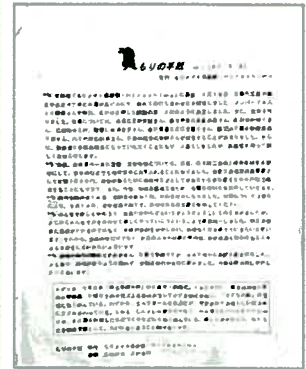


堺 次朗 6 班(育成講座 24 期)

毎月毎月、コツコツと積み重ねてついに 300 号ですか。発行に携わられてこれだけの方のご努力に頭の下がる思いです。また印刷日に間に合うよう前日の深夜まで、いや明け方まで編集作業に取り組んでおられる原田さんの姿が目には浮かびます。ご苦労様でした。

私自身、京都の宇治市でフォレスタ-宇治という森林ボランティア団体で 5 年ほど会報の発行に携わっておりましたのですが、毎月 8 ページにも及ぶ会報を 300 回もよく続けられたものだと感嘆いたしております。

広島の実山、里山の環境保全などの活動に資するため、「もりの手紙」がその啓発のための情報を切れ目なく発信をして行ければと思います。



創刊号 A4(1997・5・9)

2 班 松村允雄(育成講座 3 期)

ほぼ 25 年間、封筒の発送ラベルを作り続け、印刷用紙を調達し、毎月の発送作業に携わってきました。前任者の白石さん(現下関在住・元副会長)の仕事が忙しくなり、私が受け継いだ形となりました。わたしもまだ若かったのでしょうか。正直なところ、発送ラベルを中断しなかったことも幸いです。

様々な人が携わり、会報は皆さんの手元に届きます。会報が届いたら隔々まで目を通してください。情報を共有しましょう！投稿、歓迎です。今年米寿を迎える松村さん、第一線から手を引かれましたが、これからもどうかよろしくお願いします。

～「今月のひと枝」から 300 号によせて～

創刊 200 号(2014・2)の記事の中に「97 年 10 月から始まった【今月のひと枝】は、コウヤボウキが最初。創刊 100 号ではタカノツメで、200 号ではタチバナモドキが紹介されている。もりメイト倶楽部会員のスミさんがほぼ休む事無く投稿して下さっている。「もりの手紙」を支える底力と言えるのではないのでしょうか」と、嬉しい言葉が添えられていた。

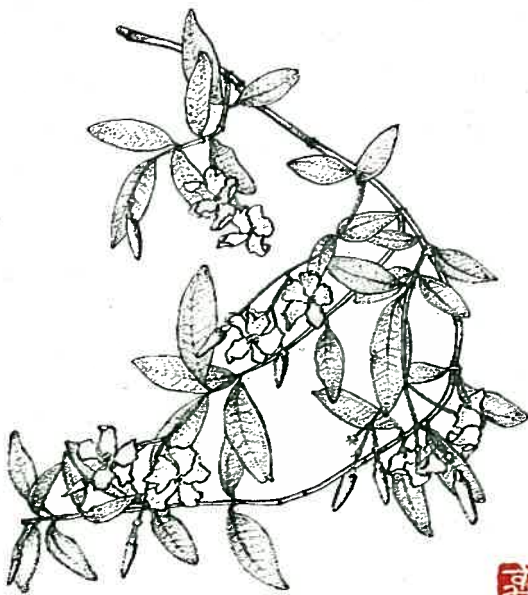
植物の名前を覚えるには画を描くのがといいと教わり、月に一枚書き続け、気が付いたら編集をも引き受け今に至る。

“できる時にできる事を” 多少見栄を張りながら、もう少し描かせてもらおう。やはり、植物が大好きなのかもしれない。

10 代目広報担当：原田 澄(3 班)

今月のひと枝

原田 澄



テイカカズラ (定家葛)

<キョウチクトウ科・テイカカズラ属>

つる性常緑低木。本州から沖縄に自生。附着痕を出して樹幹や岩に張り付いてよじ登る。葉は対生で葉身は長さ 5~10 ㍉、革質で光沢のある鮮やかな緑色。花は初夏、枝先にキョウチクトウに似た直径約 2 ㍉の白い花を咲かせる。花には芳香があり白から淡黄色に変化する。秋には、長さ 15~25 ㍉の豆のさやのような果実が対になって付く。種子には冠毛があり風に乗って飛ぶ。名の由来は、皇女式部内親王を愛した藤原定家が、彼女の死後も忘れられず、その墓に蔓となってからみついたという悲恋伝説に因む。・・・▼良い香りに誘われ、目をあげると垣根越しにテイカカズラ。雰囲気のある姿にしばし見とれる。が、有毒。▼今、里山は美しい季節を迎えている。風にそよぎ波打つのは、豊かに育った田んぼの稲。ネムノキは、枝先一杯に桃色の花を咲かせ香りを放つ。夜には蛍が飛び交い、足元にはネジバナ。たくさんの自然の宝がすぐそばに。 ~2022 年 6 月湯来町~



- 日時： 6月12日(日)
14時～16時
- 場所： 中区上八丁堀3-2
「機会館2階」
- 参加数：53名
《出席者21名・委任状32名》



司会は岩田理事、議長に山田が選出され、議事録署名者に堺氏と坂田氏を選任し、総会を進めました。第1号議案の事業

本題に入る前、一人ひとり自己紹介。和やかな雰囲気になりました。

報告では山本理事長が、現在のもりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森づくり」に関する指導にとどまらず、企業や行政への企画・運営まですべての活動に至っている等の説明がありました。収支決算報告では見勢井顧問より寄付金収入が例年に比べて多かった事の報告がありました。令和3年度の事業報告、収支決算報告、今年度の事業計画・予算については原案通り決定し承認されました。その他、今後の事務業務の運営方式の提案や、手当の支給も含めて具体的に検討を進めるとして総会を終わり、場所を移動し懇親会。コロナ自粛の関係で会食の機会が遠ざかっていましたが、久しぶりに皆と飲むビールはやはり美味かった。【HPにて令和4年の通常総会議案書を掲載しています】



★6月部会は、鹿ヶ谷基地の里山、エゴノキ・クリ、カゴノキなどの緑の葉が色濃く輝き、果実が大きくなりだした鹿ヶ谷公園の中、基地周りの下草刈り、クラフト部材の製作と、間伐材の製材並びに部員各自の趣向によるF1カーなどの作品作りを行いました。また、自動カンナ機、電動鋸盤、自動研磨機などの作動トラブルが多発し、使いつぱなしの日常を反省し、日常点検と月1回のメンテナンスは必要ですが、いざ誰がやるかの課題が残りました。メンテの基本は、使用した部員と月一の全員による点検（スキルが必要）。今後も楽しく集い活動出来たらいいなと感じた6月でした。7月も参加者の好みによる創意工夫したクラフトの考案とスキルUPを図る取り組みをしていきます。また、里山部会の活動の場である妙國寺における納屋の整備・環研部会の松ヶ原フィールドでの地域交流の一環としてクラフト「箱庭」への協働活動を行いました。興味のある部員の皆様一度覗いてみてください。

広島県により鹿ヶ谷基地の近くで砂防堰提工事の準備が進み、近く着工となるとの連絡が来ました。活動に制約が伴いますが、地域一帯の土砂災害防止のため協力して行く所存です。6月参加者27名。



自動カンナ機の刃交換指導
(磯貝さん・高杉さん)



鹿ヶ谷基地周辺の下草刈作業
(北野大先輩)



「こぶしの里」松ヶ原朝市で
クラフト指導(箱庭20作品)を行う



人気作品 カブトムシ

第1回「もりメイトキッズ」 ～大竹市松ヶ原キッズフィールド～

2022・6・19開催

参加：子ども19名 保護者16名 スタッフ15名 学生6名

当日は晴天に恵まれ、沢山の方が参加、賑わいのある開催となりスタッフ一同嬉しさに満ち溢れました。

学生のボランティアも6名参加。開校式では早速、学生たちが考案したもりメイトキッズで大切にしたい「3つの約束」を発表してもらいました。

①生き物の気持ちになって考えよう！②みんなで仲良くしよう！③人の話をさいごまで聞こう！また、松ヶ原自治会副会長の平野さんには、松ヶ原の魅力語っていただき『住み続けたい・住みたい・行きたい、と思える場所を目指しています。』と、精力的に活動されてる様子や里山の美しさ農

作業の楽しさなどお話を頂きました。

今年のテーマは『発見！探検！楽しいけん！～未知なる自然に出会う～』。テーマに沿って、子ども達一人ひとりが自然体験活動の中で、楽しみながら驚きの発見が出来るようなプログラムを考案しました。

午前のプログラムは「体験の森」での探索。しばらく手が入っていない鬱蒼とした森を歩きながら、特徴ある木や葉を触ったり眺めたり、五感を使って植物と出会う楽しさを伝えました。

タムシバを噛んで「スースーした」と感じる子や、虫がいて喜ぶ子供がいれば嫌がる子供もいました。さらに、

歩きにくいから歩きやすくしたい、森が暗いから明るくしたいなど、それぞれが色々な思いを感じながらのフィールド探索だったようです。

ひと回り探索し終えた後、それぞれ摘んできた葉っぱをこすり出して、紙に写し取りました。色々な葉の形がある事や葉脈を写し取り観察しました。

午後からは、鬱蒼とした森に入り、ノコを使って除伐しました。陽が入って、歩きやすく明るい森になり、沢山の生き物が住めるように整備を行いました。ケガなく終わることができて良かったです。

【報告：環研部会長 佐々木綾子】



松ヶ原の魅力語って下さる平野さん



こすり出し(フロッタージュ)で葉っぱを観察



ニューフェイススタッフ坂田さんによる振り返り



3つの約束を守ろう！ボランティアの学生たち



ノコとヘルメットをつけて「今から森の手入れに行くよ」



2022年6月5日 広島市森林公園
参加者：25名、(内 倶楽部員13名)

天候が危ぶまれるなか、“さくら救出大作戦”をテーマに『山の日』が開催されました。会場となった公園内の「鷹の条山」周辺には、これまでに多くの桜が植樹されていましたが、雑木が鬱蒼と生い茂り、遮光が、桜の成長を阻害し枯れてしまうような惨状で、何としても桜の名山(広島市の吉野山)になるようにとの思いを皆さんと共有し、整備に臨んで頂きました。

時間の制約がある中、登山口の桜周辺は懸命に手ノコを使っての作業で大変でしたが、光が差すほど明るさが戻り、また、展望台周辺も支障木を伐採し、桜の木がしっかりと目立つほど、眺望が改善されました。

天候も作業終了間際から雨が降り出すなど味方してくれ、公園からご褒美に提供いただいた、アイスや飲み物を美味しく頂戴しながら談笑し、みんなで交友を深めました。閉会式では、昨年に続き参加されたご家族からも「来年も参加したい」との声が聞かれるなど、皆さんそれぞれに達成感を得られたと共に、森林や自然環境保全の大切さを学んで頂けた山の日になったと感じました。



作業前のミーティングの様子。挨拶する山本理事長

【報告：4班 冨田 実】



7月 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

～ 会員及び賛助会員の皆さまへ ～

皆さんが森林ボランティアで活躍する環境を整えるために毎回、事前に場所選定や、現地下見等の調整で人が動いています。その下支えの労を少しでもご理解いただければ幸いです。また、「多忙で、高齢でなど、倶楽部の活動に今は参加できないけど、応援しているよ!」と思っておられる方、組織の運営には年会費は重要な資金のひとつです。会員継続ほか勧誘へのご協力を是非是非お願い申し上げます。

- 7月10日(日) 小川フィールドで9:00～
景観整備・地元からの依頼で支障木の撤去を行います。
- 8月は7日(第一日曜!)に8:00～
小川フィールドで「地域貢献の水路清掃・防火水槽周りの草刈り」を行います。
通常の里山部会はいつも通り、9時から開始。
- 連絡先: 岩田 080-5751-3798

里山部会

～ 自家木工・クラフト趣味の方、自由に参加お待ちしております～

- 7月は9日・16日・23日・30日の土曜日
- 連絡先: 佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp

クラフト部会

【第2回もりメイトキッズを8月21日に開催】

- 7月16日(土) 9:00より、松が原にて「Cフィールド」の歩道整備等
- 8月1日(月) 6:30～、袋町ひと・まちプラザにて、議題は第2回キッズの打合せ。
- 8月20日(土) 9:00より前日整備。
※8月21日(日) 第2回もりメイトキッズの料理の手伝いと設営を担当して下さるスタッフ募集しています!
- 連絡先: 佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp

環研部会

～ もりの手紙～

原稿、ご意見、感想募集しています。
是非、こちらのアドレスへ。
tegami@morimate-ch.com



8月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。

- 日時: 8月3日(水) 18:00～
- 場所: 袋町市民交流プラザ 3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】 : 倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】 : 倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】 : 3,000 円
- 【企業会費】 : 50,000 円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3
【ゆうちょ銀行】 1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1
《口座名: 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
【電話】 090-6419-7531
【Email】 info@morimate-ch.com